

平成 29 年度 第2回 「バイオマスカフェ」開催のお知らせ

特定非営利活動法人バイオマス北海道

ご案内の「バイオマスカフェ」は、お茶を飲み、お菓子を食べながら和やかな雰囲気の中で、バイオマス利活用に関する活動報告や情報交換を行い、研究課題の深化と共有を目指すものです。講演者の方に話題を提供して頂き、その話題について参加者全員で意見交換を行います。

「バイオマスカフェ」で皆様のバイオマスへの思いを語り合いませんか？

お知り合いの方をお誘いの上、ご参加をお待ちしております。

※カフェ終了後、別会場で懇親会（会費制）を開催いたします。引き続きご参加頂ける方は、併せてお申込をお願い致します。

記

日 時：平成 29 年 10 月 25 日（水）16:00～17:15

会 場：北海道大学 工学部材料化学棟 311 教室（地図参照）

参加費：無料（飲み物含）

対象者：バイオマスに関心をお持ちの方（どなたでもお気軽にご参加下さい）

定 員：30 名程度

申込み：下記の申込書を FAX するか、同じ内容を記載して電子メールで事務局へお申込下さい。

締切り：平成 29 年 10 月 20 日（金）

■プログラム

1. 講演（話題提供）

講演者：八村 幸一 氏

（鹿島建設株式会社 環境本部プロジェクト開発グループ グループ長）

演 題：思えばなぜにこんなにもバイオマス

～これまで関わってきたバイオマス関連業務のご紹介～

【講演要旨】八村氏は入社以来、メタン発酵の技術開発から始まり、砂川クリーンプラザや富山の食品廃棄物リサイクル施設、北広島市のバイオマス混合施設など多くのバイオマス関連施設の営業、設計を担当されてきました。また、バイオマス産業都市の制度や食品リサイクル法改正の委員をメタン発酵分野代表の立場として務められました。最近では、鹿追町の家畜ふん尿から水素を製造する実証事業も担当されております。講演者の業務の中心は常にバイオマスであり、その実績のご紹介とともに業務の苦労と経験から炙り出されたメタン発酵市場の課題について講演されます。

2. 意見交換（講演者を囲み参加者全員で意見交換を行います）

NPOバイオマス北海道事務局 行

FAX : 011-706-7583

E-mail : biomass_hokkaido@yahoo.co.jp

申込書（FAX 送信用）

お名前	ご所属	ご連絡先		懇親会 (参加の場合○)
		TEL	E-mail	

北海道大学 札幌キャンパス



【交通案内】

- JR利用の場合**
札幌駅下車、徒歩7分で「正門」到着
- 地下鉄南北線・東豊線利用の場合**
さっぽろ駅下車、徒歩10分で「正門」到着
- 地下鉄南北線利用の場合**
北12条駅下車、徒歩4分で「北13条門」到着
北18条駅下車、徒歩7分で「北18条門」到着

北海道大学データ 2013年5月現在

- 1876年 本学の前身となる札幌農学校開校
- 附属図書館、大学病院、12学部、18大学院、3附属研究所、3全面共同利用施設、20市内共同教育研究施設（総合博物館を含む）等を擁する最新総合大学
- 面積：札幌キャンパス：1,776,249㎡（東京ドームで約38倍分）
- 職員数：3,961人
- 学生数：18,043人（32カ国・地域からの留学生1,304人を含む）
- 国際交通施設：326施設（47国・地域）
- 詳しいデータはホームページでご覧いただけます。
<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/gaiyacu/2013>

※学部と同一建物の大学名称を省略している。
※〔 〕は他機関の建物を示す。

ここです